

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																					
<p>第1 中期目標の期間 平成23年4月1日から平成27年3月31日までの4年間とする。</p>			<p>全体 【大項目数 4】 個別評価項目数50</p>																					
<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 県立病院機構は、定款で定める業務について、その質の向上に取り組むこと。</p>	<p>第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>【大項目①】 個別評価項目数38</p>																					
<p>1 医療の提供 県立病院として積極的な対応が求められる分野の医療をはじめ、質の高い医療を継続的、安定的に県民に提供すること。</p>	<p>1 医療の提供</p>	<p>1 医療の提供</p>																						
<p>(1) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実 高度専門医療や特殊医療など県立病院が担うべき医療を県民に提供していくため、次の医療機能を積極的に確保し、その充実に努めること。</p> <p>ア 総合医療センター 総合的で高水準な診療基盤を有する本県の基幹病院として、三次救急医療、総合周産期医療及びへき地医療を提供するとともに、大規模自然災害や新興・広域感染症発生時には迅速かつ的確に医療を提供すること。 また、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病などは、地域の医療機関との役割分担と連携のもと、専門医療又は急性期医療を提供すること。</p>	<p>(1) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実</p> <p>ア 総合医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民の健康と生命を守るため、将来にわたって総合的で高水準・良質な医療を安定的かつ効率的に、また高い倫理観をもって提供していく。 <table border="1" data-bbox="640 1031 1099 1107"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>26目標</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数</td> <td>10,065人</td> <td>10,500人</td> </tr> </table> <p>(ア) 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターとして、診療体制の充実に取り組み、ドクターヘリや救急車による搬送患者など、重症重篤な患者を24時間365日受け入れる。 	指標	21実績	26目標	新規入院患者数	10,065人	10,500人	<p>(1) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実</p> <p>ア 総合医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県の基幹病院として、救急・急性期医療、高度専門医療などを提供する。 <table border="1" data-bbox="1249 994 1709 1070"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>23計画</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数</td> <td>10,065人</td> <td>10,200人</td> </tr> </table> <p>(ア) 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターとして、ドクターヘリや救急車による搬送患者など、重症重篤な患者を24時間365日受け入れる。 <table border="1" data-bbox="1249 1294 1709 1402"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>23計画</td> </tr> <tr> <td>救急車受入れ台数</td> <td>2,439台</td> <td>2,500台程度</td> </tr> <tr> <td>救急患者数</td> <td>18,903人</td> <td>19,000人</td> </tr> </table>	指標	21実績	23計画	新規入院患者数	10,065人	10,200人	指標	21実績	23計画	救急車受入れ台数	2,439台	2,500台程度	救急患者数	18,903人	19,000人	<p>[評価項目1]</p> <p>[評価項目2]</p>
指標	21実績	26目標																						
新規入院患者数	10,065人	10,500人																						
指標	21実績	23計画																						
新規入院患者数	10,065人	10,200人																						
指標	21実績	23計画																						
救急車受入れ台数	2,439台	2,500台程度																						
救急患者数	18,903人	19,000人																						

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																																										
	<p>(イ) 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 周産期医療システムの中核施設となる総合周産期母子医療センターの機能の充実を図り、リスクの高い妊婦や新生児などに対する高度で専門的な周産期医療を提供する。 人工授精、体外受精などの高度生殖医療を積極的に推進する。特に、TESE(夫の精巣から精子を取り出して顕微授精を行う不妊治療)の実現を目指す。 正常経過と判断される一般的な産科医療については、地域における出産ニーズ、医師と看護職員との役割分担などを踏まえ、適切に対応する。 <table border="1" data-bbox="640 568 1099 644"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体外受精治療周期数</td> <td>93件</td> <td>150件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) へき地医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 県へき地医療支援機構の調整のもと、無医地区への巡回診療や県内各地のへき地診療所への代診医の派遣を実施する。 	指標	21実績	26目標	体外受精治療周期数	93件	150件	<p>(イ) 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> NICUを備えた周産期センターとして、切迫早産や妊娠高血圧症候群などの産科合併症を持った妊婦を積極的に受け入れる。 循環器内科、外科、脳神経外科、精神科を有する病院にある周産期センターとして、母体合併症を持った妊婦を積極的に受け入れる。 出生前診断・遺伝相談外来にて、周産期に関連した先天性疾患・遺伝疾患の診断やカウンセリングを行う。 小児外科疾患の出生前診断・胎児治療や新生児管理・手術を行う。 <table border="1" data-bbox="1249 604 1709 794"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合併症妊娠の受入れ</td> <td>86件</td> <td>86件以上</td> </tr> <tr> <td>出生前診断・遺伝相談</td> <td>140件</td> <td>100件以上</td> </tr> <tr> <td>新生児入院件数</td> <td>167件</td> <td>150件以上</td> </tr> <tr> <td>新生児外科実施件数</td> <td>11件</td> <td>15件以上</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 一般不妊治療に加え、質の高い生殖医療を実施する。また、適応症例があればTESE(夫の精巣から精子を取り出して顕微授精を行う不妊治療)を行う。 <table border="1" data-bbox="1249 906 1709 983"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体外受精治療周期数</td> <td>93件</td> <td>150件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 里帰り分娩を含む一般産科医療については、地域における分娩施設の状況も踏まえ、院内助産院とともに可能な限り対応する。 <table border="1" data-bbox="1249 1094 1709 1209"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産科分娩件数</td> <td>861件</td> <td>700件以上</td> </tr> <tr> <td>院内助産院分娩件数</td> <td>26件</td> <td>50件以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) へき地医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 萩市相島、山口市徳地柚木において巡回診療を行う。 要請に応じて、へき地診療所等の代行診療業務を行う。 <table border="1" data-bbox="1249 1358 1709 1434"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回診療の実施</td> <td>93回</td> <td>99回</td> </tr> </tbody> </table>	指標	21実績	23計画	合併症妊娠の受入れ	86件	86件以上	出生前診断・遺伝相談	140件	100件以上	新生児入院件数	167件	150件以上	新生児外科実施件数	11件	15件以上	指標	21実績	23計画	体外受精治療周期数	93件	150件	指標	21実績	23計画	産科分娩件数	861件	700件以上	院内助産院分娩件数	26件	50件以上	指標	21実績	23計画	巡回診療の実施	93回	99回	<p>[評価項目 3]</p> <p>[評価項目 4]</p>
指標	21実績	26目標																																											
体外受精治療周期数	93件	150件																																											
指標	21実績	23計画																																											
合併症妊娠の受入れ	86件	86件以上																																											
出生前診断・遺伝相談	140件	100件以上																																											
新生児入院件数	167件	150件以上																																											
新生児外科実施件数	11件	15件以上																																											
指標	21実績	23計画																																											
体外受精治療周期数	93件	150件																																											
指標	21実績	23計画																																											
産科分娩件数	861件	700件以上																																											
院内助産院分娩件数	26件	50件以上																																											
指標	21実績	23計画																																											
巡回診療の実施	93回	99回																																											

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																																																						
	<ul style="list-style-type: none"> へき地を含む地域医療を担う総合医の育成を積極的に支援する。 <table border="1" data-bbox="645 272 1099 352"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>26目標</td> </tr> <tr> <td>巡回診療の実施</td> <td>93回</td> <td>原則週2回</td> </tr> </table> <p>(エ) 災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹災害拠点病院として、平常時より県内の他の医療圏の災害拠点病院と連携を密にし、災害時には県災害対策本部とともに医療救護活動を実施する。 災害派遣医療チーム（DMAT）の増・充実、医薬品の備蓄などに取り組む。 <table border="1" data-bbox="645 735 1099 815"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>26目標</td> </tr> <tr> <td>DMATの災害訓練への参加</td> <td>—</td> <td>1回以上</td> </tr> </table> <p>(オ) 感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一種及び第二種感染症指定医療機関として、平常時から医療体制を整備し、SARS や新型インフルエンザなど感染症発生時には迅速かつ確実に対応する。 <table border="1" data-bbox="645 999 1099 1078"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>26目標</td> </tr> <tr> <td>感染症に関する訓練の実施</td> <td>1回</td> <td>1回以上</td> </tr> </table> <p>(カ) 専門医療、急性期医療</p> <p>a がん</p> <ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院として、患者の病態に応じた専門的な医療を提供する。 <table border="1" data-bbox="645 1246 1099 1430"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>26目標</td> </tr> <tr> <td>胸(腹)腔鏡下手術件数 (肺がん・胃がん・大腸がん)</td> <td>26件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>10,519件</td> <td>10,600件</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>4,952件</td> <td>5,500件</td> </tr> </table>	指標	21実績	26目標	巡回診療の実施	93回	原則週2回	指標	21実績	26目標	DMATの災害訓練への参加	—	1回以上	指標	21実績	26目標	感染症に関する訓練の実施	1回	1回以上	指標	21実績	26目標	胸(腹)腔鏡下手術件数 (肺がん・胃がん・大腸がん)	26件	40件	放射線治療件数	10,519件	10,600件	化学療法件数	4,952件	5,500件	<ul style="list-style-type: none"> 初期臨床研修プログラムにおいて内科、救急、地域医療などの必須科目以外に外科、小児科、産婦人科、精神科等の研修を義務化する。 初期臨床研修プログラムにおいて短期総合プログラム選択できるようにする。短期総合プログラムでは過疎地で必要とされる外来診察と処置の習得を行う。 総合医による診療と教育・研究を担当する総合診療科開設に向けた検討に着手する。 <p>(エ) 災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹災害拠点病院として、平常時より県内の他の医療圏の災害拠点病院と連携を密にし、災害時には県災害対策本部とともに医療救護活動を実施する。 公的機関が開催する災害訓練に災害派遣医療チーム（DMAT）隊員を派遣する。 <table border="1" data-bbox="1249 735 1704 815"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>23計画</td> </tr> <tr> <td>DMATの災害訓練への参加</td> <td>—</td> <td>3回</td> </tr> </table> <p>(オ) 感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 一類又は二類感染症患者の発生を想定した訓練を実施する。 <table border="1" data-bbox="1249 959 1704 1038"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>23計画</td> </tr> <tr> <td>感染症に関する訓練の実施</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </table> <p>(カ) 専門医療、急性期医療</p> <p>a がん</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域がん診療連携拠点病院として、がん医療の均てん化、緩和ケア研修の実施、地域連携パスの整備を行い、地域医療機関との連携に取り組む。 <table border="1" data-bbox="1249 1278 1704 1461"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>23計画</td> </tr> <tr> <td>胸(腹)腔鏡下手術件数 (肺がん・胃がん・大腸がん)</td> <td>26件</td> <td>30件</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>10,519件</td> <td>10,600件</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>4,952件</td> <td>5,150件</td> </tr> </table>	指標	21実績	23計画	DMATの災害訓練への参加	—	3回	指標	21実績	23計画	感染症に関する訓練の実施	1回	1回	指標	21実績	23計画	胸(腹)腔鏡下手術件数 (肺がん・胃がん・大腸がん)	26件	30件	放射線治療件数	10,519件	10,600件	化学療法件数	4,952件	5,150件	<p>[評価項目 5]</p> <p>[評価項目 6]</p> <p>[評価項目 7]</p>
指標	21実績	26目標																																																							
巡回診療の実施	93回	原則週2回																																																							
指標	21実績	26目標																																																							
DMATの災害訓練への参加	—	1回以上																																																							
指標	21実績	26目標																																																							
感染症に関する訓練の実施	1回	1回以上																																																							
指標	21実績	26目標																																																							
胸(腹)腔鏡下手術件数 (肺がん・胃がん・大腸がん)	26件	40件																																																							
放射線治療件数	10,519件	10,600件																																																							
化学療法件数	4,952件	5,500件																																																							
指標	21実績	23計画																																																							
DMATの災害訓練への参加	—	3回																																																							
指標	21実績	23計画																																																							
感染症に関する訓練の実施	1回	1回																																																							
指標	21実績	23計画																																																							
胸(腹)腔鏡下手術件数 (肺がん・胃がん・大腸がん)	26件	30件																																																							
放射線治療件数	10,519件	10,600件																																																							
化学療法件数	4,952件	5,150件																																																							

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案
	<p>(a) 固形がん</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術、放射線療法及び化学療法との組み合わせによる集学的治療をより効果的に実施するため、診療体制の充実に努め、部署横断的な取組を一層推進する。 化学療法の充実に努めるため、外来化学療法室の体制を強化する。 身体症状の緩和や精神心理的な問題への対応を強化するため、緩和ケア医療を充実する。 5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)に関する地域連携パスを作成し、運用する。 <p>(b) 血液がん</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学療法を中心とし、手術・放射線・造血幹細胞移植を組み合わせた集学的治療を効果的に実施するため、診療体 	<p>(a) 固形がん</p> <ul style="list-style-type: none"> 色素内視鏡、拡大内視鏡、MDCT(多重検出器列CT)などを駆使して早期がんの発見に努める。 早期がんに対しては、内視鏡手術、胸腹腔鏡下手術、超選択的な放射線治療などの低侵襲治療を拡充する。 進行がんに対しては、手術、放射線治療、化学療法を組み合わせた集学的治療の実施を行うとともに術中迅速病理検査、遺伝子検査などを駆使して個別化医療を推進する。 治療困難例に対しては、カンサーボードの開催などを通して、診療科、部署を超えた幅広い意見を総合し最適な治療を行う。 化学療法の院内マニュアルを作成し、化学療法の手順、副作用対策などを診療科、病棟、外来の垣根をこえて統一し、化学療法が安全に行える体制を強化する。 化学療法レジメンを事前登録制にすることで、薬剤使用量、投与間隔を事前にチェック出来る体制を徹底し、安全性を強化する。 新規抗がん剤、新規レジメンの対する院内の勉強会を定期開催し、化学療法に対する知識を深め、化学療法の充実に努める。 外来化学療法室に専門の看護師をおく。 緩和ケアを確立するため、患者への啓蒙活動・医療スタッフの実践知識向上を目指す。 緩和ケアチームを中心に、症例検討会や緩和ケア研修会を継続し、多職種間の連携を図る。 5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)に関する地域連携パスは、県がん診療連携協議会において作成された県内統一型のパスに準じて作成、運用する。 <p>(b) 血液がん</p> <ul style="list-style-type: none"> 造血器腫瘍に対する標準的の化学療法を実施するとともに、血縁者間同種末梢血幹細胞移植実施体制の整備(病 	<p>[評価項目8]</p> <p>[評価項目9]</p>

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																																																
	<p>制の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の高齢化が進んでおり、特に高齢者に多い骨髄異形成症候群・多発性骨髄腫に対する新規治療薬を含めた治療法の開発を進める。 <p>b 脳卒中、急性心筋梗塞・大動脈瘤、糖尿病</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳卒中などの脳血管障害に対する血管内治療を実施する。また、神経内科と脳神経外科との院内連携及び脳卒中地域連携パスの作成・運用による院外連携を強化する。 <table border="1" data-bbox="640 643 1102 719"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管内手術件数</td> <td>32件</td> <td>35件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 急性心筋梗塞などの虚血性心疾患、大動脈瘤などに対し、循環器内科と心臓血管外科・外科が中心となって内科的・外科的治療を実施する。また、県央部における急性心筋梗塞の医療連携体制の構築に向けて取り組む。 <table border="1" data-bbox="640 885 1117 1000"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経皮的冠動脈ステント留置術件数</td> <td>199件</td> <td>250件</td> </tr> <tr> <td>大動脈瘤ステントグラフト内挿術件数</td> <td>72件</td> <td>110件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病地域連携パスを作成し、運用する。 <p>c 人工関節治療</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内で先駆けて設置した「人工関節センター」の整備充実を進め、高度な治療を実施する。また、大腿骨頸部骨折地域連携パスを作成し、運用する。 <table border="1" data-bbox="640 1351 1102 1428"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工関節(股・膝)置換術件数</td> <td>137件</td> <td>250件</td> </tr> </tbody> </table>	指標	21実績	26目標	脳血管内手術件数	32件	35件	指標	21実績	26目標	経皮的冠動脈ステント留置術件数	199件	250件	大動脈瘤ステントグラフト内挿術件数	72件	110件	指標	21実績	26目標	人工関節(股・膝)置換術件数	137件	250件	<p>棟・検査・全身放射線照射など)を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者骨髄異形成症候群に対しては、新規薬剤を積極的に導入し最適化を図る。 多発性骨髄腫に対しては、新規薬剤の導入を積極的に行うとともに、適応症例に対しては自家末梢血幹細胞移植、適応外症例に対しては新規薬剤での外来維持療法を施行する。 <p>b 脳卒中、急性心筋梗塞・大動脈瘤、糖尿病</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳動脈瘤(破裂、未破裂)、脳幹動脈狭窄症などに対する脳血管内手術治療を引き続き実施するとともに、適応症例の拡大を図る。 <table border="1" data-bbox="1249 643 1711 719"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管内手術件数</td> <td>32件</td> <td>33件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 急性心筋梗塞などの虚血性心疾患、大動脈瘤などに対し、循環器内科と心臓血管外科・外科が中心となって内科的・外科的治療を実施する。また、県央部における急性心筋梗塞の医療連携体制の構築に向けて取り組む。 <table border="1" data-bbox="1249 885 1711 1000"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経皮的冠動脈ステント留置術件数</td> <td>199件</td> <td>250件</td> </tr> <tr> <td>大動脈瘤ステントグラフト内挿術件数</td> <td>72件</td> <td>80件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病地域連携パスの作成に向けて、患者教育の充実に取り組む。 <table border="1" data-bbox="1249 1096 1711 1173"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教育入院</td> <td>42件</td> <td>45件</td> </tr> </tbody> </table> <p>c 人工関節治療</p> <ul style="list-style-type: none"> 病診連携の強化や患者に対する講演会などを通して患者数の増加を図る。 クリニカルパスによる質の高い効率的な医療を提供することにより、入院期間の短縮や手術件数の増加を図る。 <table border="1" data-bbox="1249 1393 1711 1469"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工関節(股・膝)置換術件数</td> <td>137件</td> <td>180件</td> </tr> </tbody> </table>	指標	21実績	23計画	脳血管内手術件数	32件	33件	指標	21実績	23計画	経皮的冠動脈ステント留置術件数	199件	250件	大動脈瘤ステントグラフト内挿術件数	72件	80件	指標	21実績	23計画	糖尿病教育入院	42件	45件	指標	21実績	23計画	人工関節(股・膝)置換術件数	137件	180件	<p>[評価項目 10]</p> <p>[評価項目 11]</p> <p>[評価項目 12]</p> <p>[評価項目 13]</p>
指標	21実績	26目標																																																	
脳血管内手術件数	32件	35件																																																	
指標	21実績	26目標																																																	
経皮的冠動脈ステント留置術件数	199件	250件																																																	
大動脈瘤ステントグラフト内挿術件数	72件	110件																																																	
指標	21実績	26目標																																																	
人工関節(股・膝)置換術件数	137件	250件																																																	
指標	21実績	23計画																																																	
脳血管内手術件数	32件	33件																																																	
指標	21実績	23計画																																																	
経皮的冠動脈ステント留置術件数	199件	250件																																																	
大動脈瘤ステントグラフト内挿術件数	72件	80件																																																	
指標	21実績	23計画																																																	
糖尿病教育入院	42件	45件																																																	
指標	21実績	23計画																																																	
人工関節(股・膝)置換術件数	137件	180件																																																	

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																																																						
<p>イ こころの医療センター 精神科医療における本県の基幹病院として、精神科救急・急性期医療、重症患者への医療を提供し、早期社会復帰に向けた取組を推進すること。</p> <p>また、認知症などに対する専門医療を提供するとともに、司法精神医療については、医療観察法に基づく指定入院医療機関としての体制の整備・充実を図ること。</p>	<p>イ こころの医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民のこころの健康を支える基幹病院として、精神科救急・急性期医療や専門外来、司法精神医療等の充実を図りつつ、患者と家族を誠実に支援し、地域社会や関係機関と連携して、公益性と倫理観を重視した質の高い医療の提供を推進する。 <table border="1" data-bbox="645 422 1102 499"> <tr><td>指標</td><td>21実績</td><td>26目標</td></tr> <tr><td>平均在院日数</td><td>119.3日</td><td>100日以内</td></tr> </table> <p>(ア) 精神科救急・急性期医療及び重症患者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内全域の精神科救急医療体制の充実を図るために、県精神科救急情報センターを運営して、精神科病院や他の医療機関などと連携しつつ、精神科救急医療システムの基幹病院としての役割を積極的に担う。特に、措置入院患者など精神症状の急性増悪で興奮・暴力性が高まった重症患者の入院治療を適切に行うため、精神科救急入院病床の充実を図り、多職種チームによる質の高い急性期医療を提供して、早期の退院・社会復帰、再発防止を進める。 <table border="1" data-bbox="645 869 1102 1061"> <tr><td>指標</td><td>21実績</td><td>26目標</td></tr> <tr><td>措置・緊急措置入院患者の受入れ</td><td>49%</td><td>50%以上</td></tr> <tr><td>時間外・休日・深夜の診療件数</td><td>282件</td><td>250件</td></tr> <tr><td>精神科救急情報センター対応件数</td><td>289件</td><td>250件</td></tr> <tr><td>入院期間5年以上の在院者比率</td><td>16.7%</td><td>10%以下</td></tr> </table> <p>(イ) 専門外来等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・思春期外来、物忘れ外来、依存症外来、高次脳機能外来などの専門外来診療体制の充実を図るために、臨床心理士や精神保健福祉士、作業療法士、看護師などが連携した診療体制を強化する。 <table border="1" data-bbox="645 1284 1102 1361"> <tr><td>指標</td><td>21実績</td><td>26目標</td></tr> <tr><td>専門外来診療延べ患者数(初診)</td><td>159人</td><td>230人</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 臨床心理センターにおいて、医師、臨床心理士が県内の精神保健・心理・教育・福祉の専門職や公的機関に対し、事例検討・研修・スーパーヴィジョンを当院においてある 	指標	21実績	26目標	平均在院日数	119.3日	100日以内	指標	21実績	26目標	措置・緊急措置入院患者の受入れ	49%	50%以上	時間外・休日・深夜の診療件数	282件	250件	精神科救急情報センター対応件数	289件	250件	入院期間5年以上の在院者比率	16.7%	10%以下	指標	21実績	26目標	専門外来診療延べ患者数(初診)	159人	230人	<p>イ こころの医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急・急性期医療や専門外来、司法精神医療体制の整備・充実を図る。 <table border="1" data-bbox="1256 311 1713 387"> <tr><td>指標</td><td>21実績</td><td>23計画</td></tr> <tr><td>平均在院日数</td><td>119.3日</td><td>112日以内</td></tr> </table> <p>(ア) 精神科救急・急性期医療及び重症患者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 県精神科救急情報センターをより効率的に運営するとともに、精神科救急医療システムの基幹病院としての役割を果たす。特に、一般救急との連携を高めて自殺未遂者ケアにおける対応力を強化する。 措置、応急措置入院患者の受け入れを的確に行う。 m-ECT（修正型電気けいれん療法）の導入について体制等の検討を行う。 <table border="1" data-bbox="1256 834 1713 1026"> <tr><td>指標</td><td>21実績</td><td>23計画</td></tr> <tr><td>措置・緊急措置入院患者の受入れ</td><td>49%</td><td>50%以上</td></tr> <tr><td>時間外・休日・深夜の診療件数</td><td>282件</td><td>250件</td></tr> <tr><td>精神科救急情報センター対応件数</td><td>289件</td><td>250件</td></tr> <tr><td>入院期間5年以上の在院者比率</td><td>16.7%</td><td>14.5%</td></tr> </table> <p>(イ) 専門外来等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士等専門外来に関わる医療スタッフの増員を進めるとともに、看護師や精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士などが連携した診療体制のあり方について検討し、体制の向上・再構築を図る。 <table border="1" data-bbox="1256 1284 1713 1361"> <tr><td>指標</td><td>21実績</td><td>23計画</td></tr> <tr><td>専門外来診療延べ患者数(初診)</td><td>159人</td><td>170人</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関（児童相談所、知的障害者更生相談所）の支援を継続して実施する。 県内の精神保健・心理・教育・福祉の専門職や公的機関 	指標	21実績	23計画	平均在院日数	119.3日	112日以内	指標	21実績	23計画	措置・緊急措置入院患者の受入れ	49%	50%以上	時間外・休日・深夜の診療件数	282件	250件	精神科救急情報センター対応件数	289件	250件	入院期間5年以上の在院者比率	16.7%	14.5%	指標	21実績	23計画	専門外来診療延べ患者数(初診)	159人	170人	<p>[評価項目 14]</p> <p>[評価項目 15]</p> <p>[評価項目 16]</p>
指標	21実績	26目標																																																							
平均在院日数	119.3日	100日以内																																																							
指標	21実績	26目標																																																							
措置・緊急措置入院患者の受入れ	49%	50%以上																																																							
時間外・休日・深夜の診療件数	282件	250件																																																							
精神科救急情報センター対応件数	289件	250件																																																							
入院期間5年以上の在院者比率	16.7%	10%以下																																																							
指標	21実績	26目標																																																							
専門外来診療延べ患者数(初診)	159人	230人																																																							
指標	21実績	23計画																																																							
平均在院日数	119.3日	112日以内																																																							
指標	21実績	23計画																																																							
措置・緊急措置入院患者の受入れ	49%	50%以上																																																							
時間外・休日・深夜の診療件数	282件	250件																																																							
精神科救急情報センター対応件数	289件	250件																																																							
入院期間5年以上の在院者比率	16.7%	14.5%																																																							
指標	21実績	23計画																																																							
専門外来診療延べ患者数(初診)	159人	170人																																																							

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																																																
	<p>いは依頼のあった機関に出向いて行うなどの支援を展開する。</p> <table border="1" data-bbox="640 272 1099 352"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係機関(児相、知更相)支援件数</td> <td>18回</td> <td>18回以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 認知症医療ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症疾患医療センターを運営して、県内の保健医療・介護機関などと連携を図りながら、認知症の鑑別診断や、行動・心理症状に対する急性期治療、専門医療相談を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修を行うことにより、認知症の保健医療水準の向上を図る。 <table border="1" data-bbox="640 608 1099 759"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括支援センターとの連携会議・協議会開催回数</td> <td>11回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>認知症疾患医療センター相談件数</td> <td>80件</td> <td>250件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 司法精神医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の司法精神医療体制を充実させるために、医療観察法に基づく指定入院医療機関としての施設整備を進め、心神喪失者など同法の対象者に適切で継続的な入院医療及び外来医療を提供し、社会復帰の促進を図る。また、司法機関に協力して刑事精神鑑定を適正に実施する。 <table border="1" data-bbox="640 1015 1099 1134"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療観察病棟の開設</td> <td>—</td> <td>8床</td> </tr> <tr> <td>医療観察病棟病床利用率</td> <td>—</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table>	指標	21実績	26目標	関係機関(児相、知更相)支援件数	18回	18回以上	指標	21実績	26目標	地域包括支援センターとの連携会議・協議会開催回数	11回	24回	認知症疾患医療センター相談件数	80件	250件	指標	21実績	26目標	医療観察病棟の開設	—	8床	医療観察病棟病床利用率	—	90%	<p>の要請に応じて支援を行う。</p> <table border="1" data-bbox="1252 233 1711 312"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係機関(児相、知更相)支援件数</td> <td>18回</td> <td>18回以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 認知症医療ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症疾患医療センターの円滑な運営を行い、県内の認知症に係る医療水準の向上を図る。 地域包括支援センターとの連携を強化する。 地域保健・医療・介護関係者への研修を行う。 <table border="1" data-bbox="1252 568 1711 719"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括支援センターとの連携会議・協議会開催回数</td> <td>11回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>認知症疾患医療センター相談件数</td> <td>80件</td> <td>250件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 司法精神医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療観察病床(2床)を的確に運営する。 医療観察病棟(8床)整備に向け、建築設計を進めるとともに、工事用道路の建設等の準備を行う。 刑事精神鑑定を適正に実施する。 <table border="1" data-bbox="1252 983 1711 1094"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療観察病棟の開設</td> <td>—</td> <td>2床</td> </tr> <tr> <td>医療観察病棟の病床利用率</td> <td>—</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>	指標	21実績	23計画	関係機関(児相、知更相)支援件数	18回	18回以上	指標	21実績	23計画	地域包括支援センターとの連携会議・協議会開催回数	11回	12回	認知症疾患医療センター相談件数	80件	250件	指標	21実績	23計画	医療観察病棟の開設	—	2床	医療観察病棟の病床利用率	—	50%	<p>[評価項目 17]</p> <p>[評価項目 18]</p>
指標	21実績	26目標																																																	
関係機関(児相、知更相)支援件数	18回	18回以上																																																	
指標	21実績	26目標																																																	
地域包括支援センターとの連携会議・協議会開催回数	11回	24回																																																	
認知症疾患医療センター相談件数	80件	250件																																																	
指標	21実績	26目標																																																	
医療観察病棟の開設	—	8床																																																	
医療観察病棟病床利用率	—	90%																																																	
指標	21実績	23計画																																																	
関係機関(児相、知更相)支援件数	18回	18回以上																																																	
指標	21実績	23計画																																																	
地域包括支援センターとの連携会議・協議会開催回数	11回	12回																																																	
認知症疾患医療センター相談件数	80件	250件																																																	
指標	21実績	23計画																																																	
医療観察病棟の開設	—	2床																																																	
医療観察病棟の病床利用率	—	50%																																																	
<p>(2) 医療従事者の確保、専門性の向上</p> <p>医療機能の維持・向上を図るため、医師をはじめ医療従事者の確保対策を推進するとともに、教育研修の充実、専門又は認定資格の取得支援など医療従事者の専門性や医療技術の向上に資する取組を実施すること。</p>	<p>(2) 医療従事者の確保、専門性の向上</p> <p>ア 医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた人材を確保するため、大学などの教育・養成機関及び県などの関係機関との連携の強化を図り、適時適切な採用を進める。 総合医療センターでの7対1看護の実施、こころの医療センターでの精神科救急入院の受け入れ拡充など、急性期における医療提供体制のさらなる充実に向け、医療従事者 	<p>(2) 医療従事者の確保、専門性の向上</p> <p>ア 医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼吸器内科常勤医の確保に向けて、近隣の大学医学部等への働きかけを継続する。 看護職員を確保するため、県外で開催される就職説明会に出展する(広島、福岡)。 有用な人材を幅広く確保するため、採用試験のあり方について見直しを行う。 	<p>[評価項目 19]</p>																																																

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案
	<p>の必要数の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児休業制度の適切な運用と合わせて、育休職員の円滑な職場復帰に向けた支援を行う。 <p>イ 医療従事者の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育研修計画に基づき計画的に研修を行い、高い専門性を有する人材の育成に努める。 職務上、有益な資格の取得を促進するため、外部研修の受講などに対する支援を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターにおける7対1看護体制の早期実現に向けて看護師の確保を進める。 経営状況にも配慮しながら、医療提供体制の充実に向け、職員の適正配置に努める。 安心して職場復帰できるよう、看護部で実施している育休復帰予定職員に対する情報提供等の取組を推進するとともに、他の部門への拡大を検討する。 育児短時間勤務制度の弾力化について検討を行う。 病児保育を含む院内保育システムの構築に向けた検討を進める。 育休職員の代替職員を確保するため、非正規職員の処遇改善を行う。 <p>イ 医療従事者の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人職員として必要な知識等を習得するため、基礎研修及びクラス別研修を実施する。 両病院の各部門において、それぞれの専門性に応じた院内研修を実施するとともに、院外の研修会等へ参加を行う。 看護ケアの質の向上を図るため、認定看護師の資格取得を促進する。 	[評価項目 20]
<p>(3) 施設設備の整備</p> <p>施設設備については、県立病院が担う医療機能にふさわしいものとなるよう、県民の医療ニーズ、費用対効果、老朽化の状況などを総合的に勘案し、計画的に整備、更新すること。</p>	<p>(3) 施設設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備計画及び機器整備計画に基づき、計画的に整備する。 	<p>(3) 施設設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターにおいて、病院機能維持のための空調熱源改修等の工事、医療提供に必要な医療機器、病院機能向上のための電子カルテシステムの整備を行う。 こころの医療センターにおいて、医療観察病棟建設工事用道路の建設及び病院周辺環境の整備工事、医療観察用電子カルテシステムの導入を進める。 	[評価項目 21]
<p>(4) 医療に関する安全性の確保</p> <p>安心・安全な医療を提供するため、医療事故防止・院内感染防止などの安全対策を推進すること。</p>	<p>(4) 医療に関する安全性の確保</p> <p>ア 医療事故の防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> リスクマネージャーや医療安全に関する院内組織が中心となって、ヒヤリハット事例などの関連情報の収集と分析及び結果の提供、院内研修の実施、安全管理マニュアルの 	<p>(4) 医療に関する安全性の確保</p> <p>ア 医療事故の防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全に関する院内組織が中心となって、関連情報の収集と分析及び分析結果の提供、院内研修の実施、安全管理マニュアルの点検を行う。 	[評価項目 22]

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																												
	<p>充実などを行い、医療事故の未然防止を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事故公表基準に基づき、情報を公表し、県民の信頼と医療安全の確保に努める。 <p>イ 医薬品及び医療機器の安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全に関する情報の収集と提供、服薬指導、医薬品・医療用放射線・医療機器の安全管理の充実に取り組む。 <table border="1" data-bbox="640 459 1104 612"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">総合医療センター</th> <th colspan="2">こころの医療センター</th> </tr> <tr> <th>21実績</th> <th>26目標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>服薬指件数</td> <td>3,690件</td> <td>6,200件</td> <td>520件</td> <td>600件</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 院内感染の防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策委員会を中心に、院内感染の監視、指導・教育などを徹底する。 	指標	総合医療センター		こころの医療センター		21実績	26目標	21実績	26目標	服薬指件数	3,690件	6,200件	520件	600件	<ul style="list-style-type: none"> 医療事故公表基準に基づき、情報を公表する。 <p>イ 医薬品及び医療機器の安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全に関する情報の収集と提供、服薬指導、医薬品・医療用放射線・医療機器の安全管理の充実に取り組む。 <table border="1" data-bbox="1249 459 1713 612"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">総合医療センター</th> <th colspan="2">こころの医療センター</th> </tr> <tr> <th>21実績</th> <th>23計画</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>服薬指導件数</td> <td>3,690件</td> <td>5,100件</td> <td>520件</td> <td>520件</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 院内感染の防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策委員会を定期的に開催し、院内感染防止対策情報の院内周知や院内研修会を実施する。 	指標	総合医療センター		こころの医療センター		21実績	23計画	21実績	23計画	服薬指導件数	3,690件	5,100件	520件	520件	<p>[評価項目 23]</p> <p>[評価項目 24]</p>
指標	総合医療センター		こころの医療センター																												
	21実績	26目標	21実績	26目標																											
服薬指件数	3,690件	6,200件	520件	600件																											
指標	総合医療センター		こころの医療センター																												
	21実績	23計画	21実績	23計画																											
服薬指導件数	3,690件	5,100件	520件	520件																											
<p>(5) 患者サービスの向上</p> <p>患者自身が納得して治療を受けられるよう、患者への説明や診療情報の提供を的確に行うとともに、医療に関する相談支援機能の充実を図ること。</p> <p>また、患者に関する情報は適正に管理するとともに、院内環境の改善や患者意見の反映など院内サービスの向上に取り組むこと。</p>	<p>(5) 患者サービスの向上</p> <p>ア 患者本位の医療の実践</p> <p>(ア) インフォームドコンセントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療方針や治療経過の説明書類の点検・見直し、説明方法の工夫に取り組む。 <p>(イ) クリニカルパスの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターにおいて、クリニカルパス（退院までの治療手順をあらかじめ定めた計画表）を適用した治療を推進する。 <table border="1" data-bbox="640 1166 1104 1241"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス使用件数</td> <td>2,299件</td> <td>2,500件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 患者及び家族への相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の職種が連携し、患者及び家族からの治療、生活、心理的な事項などに関する多様な相談に対応するとともに、 	指標	21実績	26目標	クリニカルパス使用件数	2,299件	2,500件	<p>(5) 患者サービスの向上</p> <p>ア 患者本位の医療の実践</p> <p>(ア) インフォームドコンセントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明書面の点検、必要に応じた見直しを進める。 こころの医療センターにおいては、処遇検討委員会を開催し、適正な処遇の確保、患者の人権擁護に努める。 <p>(イ) クリニカルパスの活用（総合医療センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院における患者の負担軽減及びわかりやすい医療の提供のため、新たなクリニカルパスの作成や作成済みのパスの点検に努める。 電子カルテシステムの導入に伴い、クリニカルパスの電子カルテシステムへの移行を準備する。 <table border="1" data-bbox="1249 1241 1713 1316"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス使用件数</td> <td>2,299件</td> <td>2,350件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 患者及び家族への相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 多職種と連携して、患者及び家族からの多様な相談に対応するとともに、相談支援体制の充実を図る。 	指標	21実績	23計画	クリニカルパス使用件数	2,299件	2,350件	<p>[評価項目 25]</p> <p>[評価項目 26]</p> <p>[評価項目 27]</p>																
指標	21実績	26目標																													
クリニカルパス使用件数	2,299件	2,500件																													
指標	21実績	23計画																													
クリニカルパス使用件数	2,299件	2,350件																													

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案
	<p>に、相談支援体制の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療内容等の選択にあたり、他の医療機関の意見を求める患者や家族に適切に対応できるよう、総合医療センターにおいて、セカンドオピニオン外来を実施する。また、こころの医療センターにおいて、患者及び家族を支援するために、家族を対象とした講演会、研修会を開催する。 <p>イ チーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の状況に的確に対応した医療を提供するため、各医療従事者が高い専門性をもって、目的と情報を共有し、互いに連携・補完し合うチーム医療を推進する。 <p>ウ 適正な情報管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口県個人情報保護条例及び山口県情報公開条例の実施機関として、個人情報の取扱いに関する実施規程に基づき、個人情報を適正に管理するとともに、患者及びその家族への開示を適切に行う。 医療分野における情報化の進展に対応するため、情報管理体制の充実を図る。特に、総合医療センターの各種情報システムを総合的に管理するため、専任の情報管理担当を配置する。 <p>エ 院内サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者や来院者がより快適に病院を利用できるよう、職員の接遇向上や待ち時間の改善、施設設備の計画的な補修や利便施設の充実、病院ボランティアの受け入れなどに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターは、地域がん診療連携拠点病院として、地域や診療機関へ情報提供を行い、がん相談支援センターの活動内容の向上に努める。 総合医療センターにおいては、他の医療機関を受診している患者や家族からセカンドオピニオンの依頼がある場合、専門医療機関として適切に対応する。 こころの医療センターにおいては、患者家族を対象とした講演会・研修会を開催するとともに、患者家族会の活動を支援する。 <p>イ チーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートや緩和ケアなどの領域別チーム医療の充実と関連するチーム間の連携及び統合を図る。また、各チームは委員会や研修会、院内ラウンドを行い、情報の共有化を進める。 総合医療センターにおいては、電子カルテシステムの導入に向けて、チーム医療に連動するシステムの検討を行う。 <p>ウ 適正な情報管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報を適正に管理するとともに、患者及びその家族への情報開示を適切に行う。 情報管理体制の充実を図るため、本部に情報化担当職員を配置し、法人全体の情報管理体制を確立するとともに、総合医療センターにおける電子カルテシステムの導入を始めとする各種情報システムの管理運営を行う。 <p>エ 院内サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の接遇マナーの向上に努めるため、接遇研修会を実施する。 会計待ち時間の短縮と患者の利便性向上を図るため、総合医療センターに自動支払機を導入する。 	<p>[評価項目 28]</p> <p>[評価項目 29]</p> <p>[評価項目 30]</p>

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案												
	<ul style="list-style-type: none"> サービス向上にあたっては、患者及び来院者ニーズを把握するため、意見箱の設置と定期的なアンケートを行うとともに、病院ボランティアの声や第三者評価機関による病院機能評価を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身障者トイレの更新や監視カメラの増設など施設の補修や改修を進める。 患者の視点に立ったサービスを提供するため、多様なボランティアを受け入れるとともに、院内環境の快適性の向上に努める。 提言箱を設置し、患者及び来院者ニーズの把握と共有に努め、院内サービスの改善を図る。 こころの医療センターにおいては、医療の質の向上とサービスの改善につなげるため、病院機能評価を受審する。 													
<p>(6) 地域医療への支援</p> <p>ア 地域医療連携の推進</p> <p>他の医療機関との役割分担と連携のもと、かかりつけ医との病診連携、他病院との病病連携を進めること。</p> <p>また、県内の医療機関からの職員派遣要請にも応じるなど、地域医療への支援に努めること。</p>	<p>(6) 地域医療への支援</p> <p>ア 地域医療連携の推進</p> <p>(ア) 県内医療機関等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターにおいて、患者の相互紹介及び地域連携バス（地域の医療機関の連携による急性期から在宅までの一貫した診療計画）の運用に取り組み、地域医療支援病院の承認取得を目指す。 他の医療機関など関係機関との連携を推進するため、総合医療センターの地域連携部門の機能強化を図る。 <table border="1" data-bbox="640 866 1102 943"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率（総合医療センター）</td> <td>39.3%</td> <td>60%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 県内医療機関への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターにおいて、高度医療機器の共同利用、施設の一部開放に取り組む。 診療体制を確保し、他の医療機関からの要請に応じられる職員派遣制度を整備する。 	指標	21実績	26目標	紹介率（総合医療センター）	39.3%	60%以上	<p>(6) 地域医療への支援</p> <p>ア 地域医療連携の推進</p> <p>(ア) 県内医療機関等との連携（総合医療センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携バスの運用、出張専門外来など地域の医療機関との連携体制の整備を進め、紹介率の向上を目指す。 <table border="1" data-bbox="1249 719 1711 796"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率（地域医療支援病院換算）</td> <td>39.3%</td> <td>40%以上</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 前方支援、後方支援として地域連携室の人員配置を行い、業務内容の拡充を図るとともに、体制を充実させる。 かかりつけ医を紹介医として登録し、患者の便宜やかかりつけ医との連携の強化を図る「紹介医登録制度」のさらなる普及を目指す。 防府地域病病連携協議会などで情報の共有を行うとともに、病診・病病連携の推進を図り、地域との連携を強化していく。 <p>(イ) 県内医療機関への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器の共同利用に向けて、地域の医療従事者が参加する勉強会を総合医療センターで開催する。 総合医療センターの小児アレルギーや小児リウマチ外来の県内普及に努める。 両病院の医療機能を維持しながら、他の医療機関からの要請に弾力的に対応することが可能な職員派遣制度を整備・運用する。 	指標	21実績	23計画	紹介率（地域医療支援病院換算）	39.3%	40%以上	<p>[評価項目 31]</p> <p>[評価項目 32]</p>
指標	21実績	26目標													
紹介率（総合医療センター）	39.3%	60%以上													
指標	21実績	23計画													
紹介率（地域医療支援病院換算）	39.3%	40%以上													

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案												
<p>イ 社会的な要請への協力 県立病院が有する人材や知見を活用し、研修会への講師派遣など社会的な要請に協力すること。</p>	<p>イ 社会的な要請への協力 ・ 公的機関が行う学生に対する講義や医療・福祉従事者に対する研修会への講師派遣など社会的な要請に応じて協力を行う。</p>	<p>イ 社会的な要請への協力 ・ 公的機関が行う学生に対する講義や医療・福祉従事者に対する研修会への講師派遣など社会的な要請に応じて協力を行う。</p>	[評価項目 33]												
<p>2 医療に関する調査及び研究 県立病院が提供する医療の質の向上、本県における医療水準の向上を図るため、調査及び研究に取り組むこと。 また、調査及び研究の成果について、県民の健康意識の醸成にも資するよう、わかりやすい情報発信に努めること。</p>	<p>2 医療に関する調査及び研究 (1) 臨床研究の実施 ・ これまでに得られた知見や豊富な症例をもとに、診断方法や治療方法の改善などに関する調査研究に取り組む。 ・ 総合医療センターにおいて、がん医療の質の向上を図るため、院内がん登録を推進する。 ・ 新薬などの有効性や安全性を高めるための治験を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="642 719 1102 796"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>26目標</td> </tr> <tr> <td>治験件数</td> <td>7件</td> <td>7件以上</td> </tr> </table> <p>(2) 情報の発信 ・ 公開講座の開催、ホームページや病院広報誌などにより、高度専門医療や特殊医療の実績、健康管理に有用な情報などを提供する。</p>	指標	21実績	26目標	治験件数	7件	7件以上	<p>2 医療に関する調査及び研究 (1) 臨床研究の実施 ・ 疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等は、積極的に受託する。 ・ 総合医療センターは、地域がん診療連携拠点病院として、標準登録様式に基づく精度の高い院内がん登録を推進する。 ・ 企業主導型治験及び医師主導型多施設共同治験等は、積極的に受託する。</p> <table border="1" data-bbox="1252 756 1711 833"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>23計画</td> </tr> <tr> <td>治験件数</td> <td>7件</td> <td>7件以上</td> </tr> </table> <p>(2) 情報の発信 ・ 県民公開講座の開催、病院広報誌の定期発行、ホームページの随時更新により、高度専門医療や特殊医療の実績、健康管理に有用な情報などを提供する。</p>	指標	21実績	23計画	治験件数	7件	7件以上	[評価項目 34] [評価項目 35]
指標	21実績	26目標													
治験件数	7件	7件以上													
指標	21実績	23計画													
治験件数	7件	7件以上													
<p>3 医療従事者等の研修 臨床研修病院として、県内で診療に従事する医師の確保にも資するよう、初期研修医及び後期研修医を積極的に受け入れること。 また、将来の医療を担う医学生や看護学生などの教育実習の受け入れ、救急救命士に関する病院実習の引き受けなど地域医療従事者の育成を支援すること。</p>	<p>3 医療従事者等の研修 (1) 臨床研修医の受け入れ ・ 研修実施体制の充実に取り組むとともに、県医師臨床研修推進センターなどの関係機関との連携を深め、初期研修医及び後期研修医を積極的に受け入れる。</p> <table border="1" data-bbox="642 1240 1102 1316"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>26目標</td> </tr> <tr> <td>初期研修医数(総合医療センター)</td> <td>14人</td> <td>14人以上</td> </tr> </table> <p>(2) 実習生の受け入れ ・ 医学生や看護部・薬学部などの実習生を受け入れる。</p>	指標	21実績	26目標	初期研修医数(総合医療センター)	14人	14人以上	<p>3 医療従事者等の研修 (1) 臨床研修医の受け入れ ・ 研修実施体制の充実に取り組むとともに、県医師臨床研修推進センターなどの関係機関との連携を深め、初期研修医及び後期研修医を積極的に受け入れる。</p> <table border="1" data-bbox="1252 1240 1711 1316"> <tr> <td>指標</td> <td>21実績</td> <td>23計画</td> </tr> <tr> <td>初期研修医数(総合医療センター)</td> <td>14人</td> <td>14人以上</td> </tr> </table> <p>(2) 実習生の受け入れ ・ 医学生や看護部・薬学部・臨床工学部などの実習生を受け入れる。</p>	指標	21実績	23計画	初期研修医数(総合医療センター)	14人	14人以上	[評価項目 36] [評価項目 37]
指標	21実績	26目標													
初期研修医数(総合医療センター)	14人	14人以上													
指標	21実績	23計画													
初期研修医数(総合医療センター)	14人	14人以上													

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案
	<p>(3) 地域医療従事者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターにおいて、救急救命士など地域医療従事者の実習を引き受ける。 地域の医療従事者の資質の向上を図るため、総合医療センターにおいて、地域の医療従事者が参加する研修会などを計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 要請に応じ、中学生など社会体験の場として地域社会へ提供する。 <p>(3) 地域医療従事者の育成（総合医療センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の病院実習を引き受ける。 認定看護師など専門職育成のための実習受け入れを行う。 病院広報誌への掲載などにより、県民公開講座への参加を促すほか、院内で行う症例検討会で適当なものを地域の医師会会員に開放する。 	[評価項目 38]
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>県立病院機構は、自律的で機動的な経営体制を確立し、地方独立行政法人制度の特長を活かした効率的・効果的な業務運営に努めること。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>【大項目②】</p> <p>個別評価項目数7</p>
<p>1 経営体制の確立</p> <p>独立した経営体として、主体性をもって意思決定し、迅速に行動できるよう、理事会を中心とした体制を整備するとともに、県立病院機構内部における権限配分の適正化や 職員の病院運営に対する意識の醸成を図るなど効果的な経営体制を確立すること。</p>	<p>1 経営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事会での意思決定を迅速に行うとともに、理事長や理事会を補佐するための経営企画機能を整備充実する。また、効率的な組織とするため、病院経営において必要な各病院の独自性を確保したうえで、本部及び病棟の役割分担を明確にする。 職員の病院運営に対する意識を醸成するため、経営情報の定期的な提供などを行う。 	<p>1 経営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 本部に経営企画会議を設置し、理事会審議事項についての諸調整を行うとともに、適切な情報提供による意思決定の迅速化を図る。また、病院と本部の間の事務の重複を避けることにより、効率的な法人運営を行う。 職員の病院運営に対する意識を醸成するため、経営情報を定期的に提供する。 	[評価項目 39]
<p>2 効率的・効果的な業務運営</p> <p>医療需要や業務環境の変化に即応した業務運営となるよう、各部門編成や人員配置、業務手法を常に点検し、必要な見直しを行うこと。</p> <p>また、中期目標、中期計画、年度計画に掲げる目標や取組を確実に達成するため、経営成績を踏まえた機動的な病院運営に努めること。</p> <p>さらに、経営や医療事務に精通した職員を確保、育成するなど、事務部門の専門性の向上を</p>	<p>2 効率的・効果的な業務運営</p> <p>(1) 組織、人員配置の弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて部門の再編を行うなど、医療需要や業務環境の変化に的確に対応した業務体制とする。また、有期雇用職員の配置など業務量の変化に柔軟に対応する。 <p>(2) 柔軟な予算執行</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな会計制度のもと、中期目標期間の枠内での柔軟な予算運用、多様な契約手法を活用した効率的・効果的な予 	<p>2 効率的・効果的な業務運営</p> <p>(1) 組織、人員配置の弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織体制の課題、問題点を検証し、部門再編の検討に着手する。 <p>(2) 柔軟な予算執行</p> <ul style="list-style-type: none"> 中期目標期間の枠内での柔軟な予算運用、多様な契約手法を活用した効率的・効果的な予算執行を行う。 	<p>[評価項目 40]</p> <p>[評価項目 41]</p>

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																																						
<p>図ること。</p> <p>加えて、2病院を運営する形態を活かすために、県立病院が有する人的・物的資源の相互交流や有効活用を進めること。</p>	<p>算執行を行う。また、部門別や診療科別収支の適切な把握に努め、経営改善の成果の検証を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営改善に向けた取組を促進するため、改善成果の一部を還元し、医療の質の向上や研修研究活動の支援に活用できる仕組みの導入について検討する。 <p>(3) 事務部門の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の計画的な採用を行いながら、有用な人材の確保に努める。また、専門性を高めるための取組を進める。特に、医事、物品管理及び情報管理業務に関する専門的職員の確保・育成を図る。 <p>(4) 2病院の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 両病院間の連携・協力体制の整備・充実を図るため、職員の相互派遣や合同研修の実施、材料の共同調達や管理などに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 部門別・診療科別収支の適切な把握のため、総合医療センターにおいて、電子カルテシステムの導入に併せ、材料費等を部門別・診療科別に把握する手法の確立を目指す。 経営改善成果の一部を還元し、医療の質の向上や研修研究活動の支援に活用できる仕組みの導入について検討を行う。 <p>(3) 事務部門の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> プロパー職員の段階的な採用計画を策定し、計画的な採用に着手する。 <p>(4) 2病院の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた医療人材を有効に活用するため、必要に応じて病院間での兼務又は業務応援を行う。また、相互に連携しやすい組織体制について検討する。 医薬品の共同調達に取り組む。 	<p>[評価項目 42]</p> <p>[評価項目 43]</p>																																						
<p>3 収入の確保、費用の節減・適正化</p> <p>適正な診療報酬の請求などにより収入の確保を図るとともに、未収金の発生防止と回収に努めること。</p> <p>適切な在庫管理や契約の見直しなどにより費用の節減・適正化を図ること。</p>	<p>3 収入の確保、費用の節減・適正化</p> <p>(1) 収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民に提供する医療の充実、病診連携・病病連携の拡大、診療報酬請求事務の強化などに取り組む、収入の確保を図る。 未収金の発生を未然に防止するとともに、早期の回収に取り組む。 <table border="1" data-bbox="640 1198 1104 1425"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">総合医療センター</th> <th colspan="2">こころの医療センター</th> </tr> <tr> <th>21実績</th> <th>26目標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者数</td> <td>10,065人</td> <td>10,500人</td> <td>515人</td> <td>620人</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>14.9日</td> <td>14.5日程度</td> <td>119.3日</td> <td>100日以内</td> </tr> </tbody> </table>	指標	総合医療センター		こころの医療センター		21実績	26目標	21実績	26目標	新規入院患者数	10,065人	10,500人	515人	620人	平均在院日数	14.9日	14.5日程度	119.3日	100日以内	<p>3 収入の確保、費用の節減・適正化</p> <p>(1) 収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターの地域医療連携室の機能強化を図り、病診・病病連携の拡大に努めるとともに、診療報酬請求事務を強化するなど、新規患者数の増加及び診療単価のアップによる収入の確保を図る。 <table border="1" data-bbox="1249 1161 1713 1388"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">総合医療センター</th> <th colspan="2">こころの医療センター</th> </tr> <tr> <th>21実績</th> <th>23計画</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者数</td> <td>10,065人</td> <td>10,200人</td> <td>515人</td> <td>560人</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>14.9日</td> <td>14.5日程度</td> <td>119.3日</td> <td>112日以内</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 未収金の発生を未然に防止するとともに、早期の回収に取り組む。 	指標	総合医療センター		こころの医療センター		21実績	23計画	21実績	23計画	新規入院患者数	10,065人	10,200人	515人	560人	平均在院日数	14.9日	14.5日程度	119.3日	112日以内	<p>[評価項目 44]</p>
指標	総合医療センター		こころの医療センター																																						
	21実績	26目標	21実績	26目標																																					
新規入院患者数	10,065人	10,500人	515人	620人																																					
平均在院日数	14.9日	14.5日程度	119.3日	100日以内																																					
指標	総合医療センター		こころの医療センター																																						
	21実績	23計画	21実績	23計画																																					
新規入院患者数	10,065人	10,200人	515人	560人																																					
平均在院日数	14.9日	14.5日程度	119.3日	112日以内																																					

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案																																						
	<p>(2) 費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 物流管理システム（SPD）の活用による医薬品などの在庫の適正化、後発医薬品の採用促進や材料の共同調達を進め、材料費の抑制を図る。また、複数年契約の拡大や複合契約の導入などを進め、経費の節減を図る。 <table border="1" data-bbox="640 421 1104 722"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">総合医療センター</th> <th colspan="2">こころの医療センター</th> </tr> <tr> <th>21実績</th> <th>26目標</th> <th>21実績</th> <th>26目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費対 医業収益 比率</td> <td>30.4%</td> <td>29%</td> <td>9.4%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬 品採用率 (品目)</td> <td>8.3%</td> <td>10%</td> <td>12.1%</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table>	指標	総合医療センター		こころの医療センター		21実績	26目標	21実績	26目標	材料費対 医業収益 比率	30.4%	29%	9.4%	8%	後発医薬 品採用率 (品目)	8.3%	10%	12.1%	15%	<p>(2) 費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センターにおいては、物流管理システム（SPD）の活用による医薬品や診療材料の在庫管理を一層適正化するため、委託業務内容を見直し、システムを拡充する。 全国的な価格データ等の情報を収集し、材料の適正な価格による購入に努めるとともに、後発医薬品の採用を計画的に進め、経費の節減を図る。 <table border="1" data-bbox="1249 496 1713 798"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">総合医療センター</th> <th colspan="2">こころの医療センター</th> </tr> <tr> <th>21実績</th> <th>23計画</th> <th>21実績</th> <th>23計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費対 医業収益 比率</td> <td>30.4%</td> <td>29.8%</td> <td>9.4%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬 品採用率 (品目)</td> <td>8.3%</td> <td>8.3%</td> <td>12.1%</td> <td>12.5%</td> </tr> </tbody> </table>	指標	総合医療センター		こころの医療センター		21実績	23計画	21実績	23計画	材料費対 医業収益 比率	30.4%	29.8%	9.4%	9%	後発医薬 品採用率 (品目)	8.3%	8.3%	12.1%	12.5%	<p>[評価項目 45]</p>
指標	総合医療センター		こころの医療センター																																						
	21実績	26目標	21実績	26目標																																					
材料費対 医業収益 比率	30.4%	29%	9.4%	8%																																					
後発医薬 品採用率 (品目)	8.3%	10%	12.1%	15%																																					
指標	総合医療センター		こころの医療センター																																						
	21実績	23計画	21実績	23計画																																					
材料費対 医業収益 比率	30.4%	29.8%	9.4%	9%																																					
後発医薬 品採用率 (品目)	8.3%	8.3%	12.1%	12.5%																																					
<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>県立病院機構は、良質な医療を安定的に提供していくため、効率的な病院経営を通じて経常収支の改善を図り、中期目標期間内に黒字とすること。</p>	<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、経常収支の改善を図り、中期目標期間内に黒字とする。 	<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支計画において、経常収益（営業収益及び営業外収益）÷経常費用（営業費用及び営業外費用）の割合を100%以上とする。 	<p>【大項目③】 個別評価項目数 1 [評価項目 46]</p>																																						
	<p>1 予算（平成23年度～平成26年度）</p> <p>2 収支計画（平成23年度～平成26年度）</p> <p>3 資金計画（平成23年度～平成26年度）</p> <p>第4 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 1,700百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応</p>	<p>1 予算（平成23年度）</p> <p>2 収支計画（平成23年度）</p> <p>3 資金計画（平成23年度）</p> <p>第4 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 1,700百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応等</p>																																							

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案
	<p>第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 なし</p> <p>第6 剰余金の使途 決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。</p> <p>第7 料金に関する事項 1 使用料及び手数料 理事長は、使用料及び手数料として、別表に定める額を徴収する。</p> <p>2 還付 既納の使用料及び手数料は、還付しない。ただし、理事長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。</p> <p>3 減免 理事長は、特別の理由があると認める者に対しては、使用料又は手数料を減免することができる。</p>	<p>第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 なし</p> <p>第6 剰余金の使途 決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。</p> <p>—</p>	
<p>第5 その他業務運営に関する重要事項</p>	<p>第8 その他業務運営に関する重要事項</p>	<p>第7 その他業務運営に関する重要事項</p>	<p>【大項目④】 個別評価項目数4</p>
<p>1 人事に関する事項 職員の能力や実績を適切に反映した、病院にふさわしい人事評価制度を構築するとともに、職員の意欲向上に資する給与制度の導入を検討すること。</p>	<p>1 人事に関する計画 (1) 人事評価制度 ・ 職員の職務に対する意欲の向上や中長期的な人材育成などに活用するため、人事評価制度を構築する。</p> <p>(2) 給与制度 ・ 勤務成績などを考慮した職員の意欲向上に資する給与制度の導入について検討する。</p>	<p>1 人事に関する計画 (1) 人事評価制度 ・ 病院に適した人事評価制度を構築するため、先行団体等について情報収集を行いながら、評価手法、評価項目等に関する検討に着手する。</p> <p>(2) 給与制度 ・ 評価結果の給与への反映方法について、人事評価制度と併せて、検討に着手する。</p>	<p>[評価項目 47]</p> <p>[評価項目 48]</p>

山口県立病院機構中期目標	山口県立病院機構中期計画	山口県立病院機構23年度計画	評価項目案
<p>2 就労環境に関する事項 多様な勤務形態の導入、業務負担の軽減に向けた取組、育児支援の充実など、職員の働きやすい職場環境づくりを進めること。</p>	<p>2 就労環境に関する計画</p> <p>(1) 勤務形態の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の仕事と生活の調和に配慮した多様な勤務形態の導入について検討する。 <p>(2) 就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 待遇の改善、更衣室や休憩室の充実など、働きやすい環境づくりを進める。 総合医療センターにおける院内保育所での延長保育や24時間保育、病児・病後児保育、こころの医療センターにおける民間保育所の活用検討など、育児支援策の充実を図る。 職員の意向を把握するため、定期的に調査を実施する。 	<p>2 就労環境に関する計画</p> <p>(1) 勤務形態の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児短時間勤務制度の弾力化について検討を行う。[再掲] 介護短時間勤務制度の導入について検討に着手する。 多様な勤務形態の導入に向け、職員の要望調査を行い、実効性のある具体的な方策について検討する。 <p>(2) 就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合医療センター栄養管理部の改修など計画的に就労環境の整備に取り組む。 職員の勤務実態を考慮し、必要な手当の新設について検討を行う。 育児短時間勤務制度の弾力化について検討を行う。[再掲] 病児保育を含む院内保育システムの構築に向けた検討を進める。[再掲] 職員の意向を把握するため、上半期終了時を目途に意向調査を実施する。 	<p>[評価項目 49]</p> <p>[評価項目 50]</p>
<p>3 中期計画における数値目標 本中期目標の主要な項目について、中期計画において数値目標を設定すること。</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	
<p>—</p>	<p>3 積立金の処分に関する計画 なし</p>	<p>—</p>	